

ドイツ学術情報 (2012 年 10 月～12 月)

< 目 次 >

- 1 ピックアップニュース …p1
 - ① ドイツの大学への留学希望者が増加
 - ② 大学への外部資金が過去最高に
 - ③ ドイツ連邦教育研究省(BMBF)の 2013 年度予算が成立
- 2 その他のニュース …p3
 - ① ドイツ研究振興協会が 23 のグラデュエート・コレークを新設
 - ② 欧州連合の研究担当大臣が研究助成規定で合意
 - ③ ヨーロッパ高等教育改革(ボローニャ改革)の評価を開始
 - ④ 日独シンポジウム「大学の国際化-戦略、運営構造およびプロセス」を開催
 - ⑤ アレクサンダー・フォン・フンボルト・プロフェッサーシップを授与
 - ⑥ マックスプランク研究賞を授与
 - ⑦ ソフィア・コヴァレスカヤ賞を授与

1 ピックアップニュース

① ドイツの大学への留学希望者が増加

2011 年度にドイツの大学を卒業した外国人は 3 万 8300 人に上る。ドイツの大学を卒業する外国人学生が増加していることについて、マルグレート・ヴィンターマンテル DAAD 会長は、DAAD 及びドイツの大学による努力の結果であると述べた。外国人卒業生の増加は、ドイツにとって、影響力のある友人とパートナーを世界中に数多く得られるという利点もある。過去数年間で、EU 国籍以外の卒業生の 3 分の 1 弱が、ドイツで高度職業人として就労している。

ドイツの大学への留学希望者増加の背景には、様々な対象にターゲットを定めた専門的な広報活動がある。DAAD は、DAAD が世界中に持つネットワークや、世界の各地域についての知識・経験を大学に提供した。その際、ソーシャルメディアは特に若者のターゲットグループに対して重要な役割を果たしている。「www.study-in.de」「www.research-germany.de」やテーマごとの facebook ページ(※)などのウェブサイトはよく利用されており、世界中での迅速な情報発信や情報交換に役立っている。

※facebook ページ：団体や個人が情報発信のために facebook 上に作成するページ。

DAAD は国や地域、テーマごとの facebook ページを多数作成している。

DAAD HP

(http://www.daad.de/portrait/presse/pressemitteilungen/2012/21919.de.html)

② 大学への外部資金が過去最高に

ドイツの大学が 2010 年に経済界と公共機関から獲得した研究資金は、過去最高に達した。10 月 12 日のドイツ連邦統計局の発表によれば、総額で 59 億ユーロに達し、2009 年比で 10.5 パーセント増加した。大学の経費総額に占める外部資金の割合は、14.4 パーセントとなった。

総合大学の教授が獲得した研究資金の額は、総合大学以外の大学の教授が獲得した額より多い。分野別では医学が、大学別ではアーヘン工科大学が最も多くの資金を獲得した。外部資金の出資元は、主として欧州連合、ドイツ研究振興協会(DFG)、ドイツ連邦労働局、財団法人、企業などである。医学分野の教授は一人平均 53 万 6500 ユーロを得た。次に多いのが工学分野の教授で、一人平均 50 万 9600 ユーロであった。アーヘン工科大学は 2 億 3500 万ユーロ弱、その次がミュンヘン工科大学で 2 億ユーロ、三番目がドレスデン工科大学で 1 億 6900 万ユーロであった。

参考資料 dpa(ドイツ通信)-Dossier Bildung Forschung Nr. 42/2012 15 October 2012

③ ドイツ連邦教育研究省(BMBF)の 2013 年度予算が成立

11 月 23 日に可決成立したドイツ連邦教育研究省(BMBF)の 2013 年予算は、前年比 6.2%増の総額 137 億ユーロとなった。特記事項は以下のとおり。

- 1) 大学及び学生の支援に重点を置く。2013 年の「大学教育の質改善のための協定」に基づき、大学における学習環境と教育の質の改善のため 2 億ユーロを追加配分する。また、学生定員の増加に伴い、大学協定 2020 に基づき、連邦州は来年度約 18 億 5000 万ユーロの予算配分を受ける。
- 2) 大学の研究力強化のため、エクセレンス・イニシアティブ、及びドイツ研究振興協会(DFG)による研究プロジェクトへの間接経費助成として、総額 6 億 8000 万ユーロを配分する。
- 3) 研究・イノベーション協定に基づき、研究機関への補助金が毎年 5%引き上げられる方針であり、2013 年も同様に増額となる。また、2013 年度に施行予定の学術自由法により、学術の自律性、自己責任、及び国際的影響力の強化を目指す。
- 4) 気候変動、人口動態、国民病の蔓延、世界の食料安全保障、化石資源・化石燃料の有限性など、社会的・世界的に重要な課題に取り組む研究プロジェクトへの資金も増額される。
- 5) ハイテク戦略に関するプロジェクト助成には 23 億ユーロが配分される。これは 2009 年比で 24%増、2005 年比で約 90%の増額となる。

参考資料 BMBF HP (http://www.bmbf.de/press/3378.php)

2 その他のニュース

①ドイツ研究振興協会が 23 のグラデュエート・コレークを新設 (22 Nov 2012)

ドイツ研究振興協会(DFG)は、ドイツにおける若手研究者の育成を強化するために 23 のグラデュエート・コレーク(※)を新設する。このうち 9 つは、カナダ、アメリカ、中国、オランダ及びオーストラリアの大学と密接に連携する国際的なグラデュエート・コレークで、博士号取得の魅力を高めるものとなる。また、大学あるいは大学外機関との国際連携を推進する学際的性質も加わる。新しい博士号取得プログラムは、第一期支援期間(4 年半)の間に DFG から約 7800 万ユーロ(関連プロジェクト予算も含む)の資金提供を受ける。DFG は現在、48 の国際コレークを含む 226 のグラデュエート・コレークを支援している。

DFG HP

(http://www.dfg.de/en/service/press/press_releases/2012/press_release_no_56/index.html)

※グラデュエート・コレーク (ドイツ語: Graduiertenkollegs、英語: Research Training Groups)

若手研究者育成のために各大学によって設立される組織。DFG が採択する機関は最長 9 年間、DFG からの資金提供を受ける。テーマを定めた研究プログラム及び体系的な人材育成の方針に基づく博士研究者の資格認定に重点が置かれ、学際的な取り組みを行うグループが歓迎される。

本事業は、複雑化した研究者雇用市場に対応した博士研究者を育成し、研究者としての早期自立を促進することを目的とする。

参考資料 Research Training Groups

(http://www.dfg.de/en/research_funding/programmes/coordinated_programmes/research_training_groups/index.html)

②欧州連合の研究担当大臣が研究助成規定で合意 (11 Oct 2012)

欧州連合各国の研究担当大臣は、10 月 10 日、欧州の次期研究・イノベーション助成プログラム「ホライズン 2020」に関する助成規定について合意した。

この新規助成プログラムでは、助成のための手続きを大幅に簡略化することとなった。たとえば、プロジェクトに対する助成額を一定割合とすることにより、効率的なプロジェクト管理が可能となる。間接経費は直接経費の 25 パーセントとすることで合意した。欧州連合委員会は、「ホライズン 2020」に 800 億ユーロを投入する見込みである。

BMBF HP (<http://www.bmbf.de/press/3355.php>)

③ヨーロッパ高等教育改革(ボローニャ改革)の評価を開始 (21 Nov 2012)

ドイツ大学長会議(HRK)は、ドイツにおけるボローニャ改革の開始から 10 年以上が経過した現時点で課題達成状況を確認するため、異なる手法による評価(differentiated appraisal)の実施を計画している。ボローニャ改革はそれぞれの州や機関、学問分野によって大きく異なる方法で実施されているため、これらの課題を評価するための作業部会を設置することが、11 月 20 日にゲッティンゲンで開かれた HRK 総会で決定された。評価は、組織のタイプ、学問分野、及び学位プログラムの種類に応じて異なる手法で実施される。評価結果に基づいて、ヨーロッパ高等教育改革をさらに発展させるための取り組みについての提言が、連邦政府と連邦州政府及び各高等教育機関に提出される予定である。

HRK HP

(<http://www.hrk.de/press/press-releases/press-release/meldung/differentiated-appraisal-of-european-higher-education-reform-initiated-2355/>)

④日独シンポジウム「大学の国際化-戦略、運営構造およびプロセス」を開催 (18 Oct 2012)

日独シンポジウム「大学の国際化-戦略、運営構造およびプロセス」が 10 月 17、18 日、ベルリンで開催された。ドイツ大学長会議(HRK)、ベルリン日独センター(JDZB)、ケルン大学の3機関が主催し、日独の大学等の国際担当者約 100 人が参加した。

日本側から東京大学、立命館大学、筑波大学、名古屋大学、慶応義塾大学、明治大学、九州大学、京都大学、上智大学、大阪大学(以上発表順)から報告・発表等が行われ、ドイツ側からハンブルク大学、ケルン大学、デュイスブルク・エッセン大学、ベルリン経済法科大学、ゲオルク・アウグスト大学、ハインリヒ・ハイネ大学、ブレーメン大学、ビーレフェルト大学、ベルリン自由大学、マルティン・ルター大学(以上発表順)等から報告・発表等が行われた。その他の日独の大学・関係機関等も参加し、大学の国際化について活発な意見交換が行われた。

HRK HP

(<http://www.hrk.de/press/press-releases/press-release/meldung/japan-and-germany-academic-partners-in-a-global-world-a-forum-for-exchange-between-japanese-and/>)

⑤アレクサンダー・フォン・フンボルト・プロフェッサーシップを授与 (6 Nov 2012)

アレクサンダー・フォン・フンボルト・プロフェッサーシップ受賞者である 5 名の外国人研究者は、賞金としてそれぞれ最大 500 万ユーロを獲得し、長期にわたりドイツの大学において最先端の研究を行うことになる。5 名の専門分野は美術史、材料化学、量子物理、生命科学、半導体物理。この賞金額はドイツでの最初の 5 年間の研究活動資金に充てられる。2012 年中に選ばれた受賞者は合計 10 名で、授賞式は 2013 年 5 月 8 日にベルリンで開催される。

AvH HP (<http://www.humboldt-foundation.de/web/press-release-2012-32.html>)

⑥ マックスプランク研究賞を授与 (1 Oct 2012)

マックス・プランク研究賞は連邦教育研究省の出資により、マックス・プランク協会及びフンボルト財団から毎年 2 名の優れた科学者に対して贈られるドイツの最も重要な科学賞の一つである。本賞は例年、ドイツと外国から各 1 名、国際的に著名な研究者 2 名に贈られる。2012 年の受賞テーマは「国際金融市場の規制」で、コロンビア大学法科大学院のカタリーナ・ピストーアと、マックスプランク集合財研究所(ボン)のマーティン・ヘルヴィヒの 2 名が受賞した。受賞者には各 75 万ユーロが贈られる。

AvH HP (<http://www.humboldt-foundation.de/web/press-release-2012-28.html>)

⑦ ソフィア・コヴァレフスカヤ賞を授与 (12 Nov 2012)

ソフィア・コヴァレフスカヤ賞はドイツで最も高額の研究賞の一つで、連邦教育研究省が資金を拠出している。2012 年は 14 名(男性 7 名・女性 7 名)の若手研究者が受賞した。受賞者には、管理的制約のない研究資金として一人当たり最大 165 万ユーロが提供される。これにより、受賞者は各自で選択したドイツの研究機関において研究グループを組織し、5 年間にわたり研究を遂行する。2012 年 11 月 20 日ベルリンにて授賞式が開催される。

AvH HP (<http://www.humboldt-foundation.de/web/press-release-2012-33.html>)

ぼんぼん時計第 38 号
日本学術振興会ボン研究連絡センター
JSPS Bonn Office
Ahrstrasse 58, D-53175 Bonn (事務所住所)
Postfach 20 14 48, D-53144 Bonn (郵便物用)
Phone +49(0)228-375050 Fax +49(0)228-957777
www.jsps-bonn.de